

YMCA健康福祉専門学校

健康福祉ニュース

ハイライト:

・ 国際・地域協力募金
キャンペーン開始!

・ 入試情報続報

自分の将来のことだから

今年度も私たちYMCA健康福祉専門学校では、入学を希望する方々に「真剣に考えよう!自分の将来のことだから」をテーマにカレッジ・イン(体験入学)や夏のイベント(福祉施設見学会・体験型授業)にたくさんの入学希望者にお集まりいただき、横浜YMCAの様々な活動のご紹介や私たちYMCA健康福祉専門学校の教育方針や学生たちの様子などを実際に見ていただいています。

今、現場で求められている専門職には、専門職としての知識や技術に加えて、その資格を持つにふさわしい人格を持っていることが大切であること。福祉サービスを提供する福祉施設は社会から選ばれる、選択される時代になっていること。資格取得が就職できる必要十分条件ではなくなっていること。チームケアが中心の現場では協調性やコミュニケーション能力が求められ、さらには専門職としての高い倫理観が求められていること…。など入学を希望する方々と一緒に考えるときを持ってきました。

私たちのYMCA健康福祉専門学校には、国家資格取得のためのカリキュラムに加えて、それぞれ専門職を目指す学生達が参加できるもう一つのカリキュラムがあることもお伝えしていました。それは、私たちYMCAが持っている様々な領域におけるボランティアユースリーダー活動や地域活動への参画、学生主体の委員会活動や様々な学校行事です。プールや体育館ではベビースイミングやマタニティプログラムから、障害のある子どもから高齢者にいたるまで幅広い年齢層の方々のプログラムがあり、学生達もリーダーとしてサポートボランティアとして活躍してくれています。また、地域の諸課題にも目を向け地域活動として近隣のボランティアの方々や施設との協働を通して取り組んでいます。誰も安心して暮らすことができる福祉社会の実現に向けた私たちYMCAの取り組みでもあります。

先月10月に行われた第1回入学試験では、カレッジ・イン参加者の受験生が目立ちました。面接試験でもYMCAでの学びに期待をしている様子が手に取るようにわかりました。また、将来の就職希望先を決めるにあたって事前にボランティア活動や施設見学に行くなど自分の将来に対して積極的に取り組んでいる事も嬉しく感じています。

11月以降の入学試験を考えているという人も多くいると思いますが、自分の将来のことですからしっかりと自分と向き合しましょう。

YMCA健康福祉専門学校
学校長 小林 一郎

リーダー認定式



YMCAで行われる体操、水泳、サッカー、キャンプ、野外活動、障がい児クラスなどで活躍するリーダーたち。子どもたちの成長を促し、安全を守るために、たくさんの研修、講習を行っています。9月28日には認定式が行われ、YMCA健康福祉専門学校からは福祉スポーツ科の1年生に「初級リーダー認定証」が交付されました。講習では、「リーダーとは?」「YMCAとは?」「キャラクターディベロップメントについて」といった、活動の基礎的な考え方を学びます。

様々なプログラムの指導やサポートを通して参加している子どもたちの成長に関わり、自らも成長していくことを目的としたリーダー活動。活動を通じて、子どもたちや障がい者のみならずに関わりながら、安全の知識、グループ活動でのスキルやマインド、リーダーシップなどを身に付け、ひとりひとりの成長に関わっていくことの喜びを感じ、その喜びを人に伝えていけるような姿勢が身につくことを期待しています!





終了後は、5校を代表した学生から花束をお贈りしました。

芸術鑑賞会「銀河鉄道の夜」

10月20日、横浜YMCAカレッジ・グループの芸術鑑賞会が行われました。YMCA健康福祉専門学校では、将来、子どもたちや障がいのある方、お年寄りの方々を含めた「人と接する専門職」をめざす学生の皆さんに、「それぞれの感性」を磨いてもらうための機会としています。今年度は高校生も招待し、わらび座の「銀河鉄道の夜」を鑑賞しました。

主人公はふとしたことで「死」へ向かう人たちの乗る列車に乗り合わせ、たくさんの人たちとの出会いと別れの中で次第にこのように考え始めます。「僕はもうほんとうにみんなの幸いのためならば僕の

からだなんか百ぺん灼いてもかまわない。」誰かのために何かができる、誰かの幸いを考えることのできる人になりたい、見終えたあとにそんなことを考えました。

ミュージカルを見ることが初めての学生も多かったようですが、それぞれが宮沢賢治から、そして物語から何かを感じ取ってくれていればいいと思います。



開始前、おおはしやぎの介護福祉科1年生たち

「ほんとうにどんなつらいことでもそれがたたいみちを進む中でできごとなら峠の上りも下りもみんなほんとうの幸福に近づくひとあしずつですから」……
（「銀河鉄道の夜」より）

介護福祉科1年生 実習のふりかえり

初めての介護実習を振り返り、介護福祉科の1年生が報告会を行いました。まずは各ゼミに分かれて指導教官とともにテーマを決定します。「コミュニケーション」や「全体を振り返って」などのテーマに沿って、初めての实習で経験したことをもとにグループワークを行いました。グループワークを通し、周りの人と意見を交わすことでさらに新しい学び、気づきが生まれたようです。また、今回の発表に関しては「必ず全員が発表に参加する」ことも課題でした。各ゼミとも、発表用

の掲示物だけでなくロールプレイや説明用の絵なども取り入れることでとても解りやすい報告に仕上がりました。講師の方からも合格点をいただきました。当日は県立保健福祉大学の実践教育センターで学び、教員や施設での指導受け入れ担当を目指す方々も見学に来てくださり、充実した報告会となりました。



発表に備え、様々に準備しました

チャリティーランで走る！

10月21日は第9回横浜YMCAインターナショナル・チャリティーランが行われました。集まった寄付金で全国の障がいのある子どもたちにキャンプに参加する機会を提供しようという趣旨で実施されています。YMCA健康福祉専門学校から今年は、6チームが出走しました。介護福祉科1年生のチームでは虎に扮したランナーいたり、健康福祉科2年生のチームにはチャイナドレスの美女がいたりと楽しんで参加していました。福祉スポーツ科2年生は大健闘、タイムで4位となり

入賞まであと一歩でした。保育園のチームでは子どもと伴走する卒業生が、また学童の子ども達とチームを組む学生なども見受けられました。厚木YMCAでも障がい児対象のキャンプを行っており、多くの学生たちがリーダーとして参加しています。その運営にもチャリティーラン募金が使用されています。



スタートゲート、緊張の一瞬！



横浜中華学院校友会の方々が中国獅子舞を披露してくれました

YMCA国際・地域協力募金キャンペーンがはじまります

YMCAは、世界各地の困難な状況にある人々と共に生き、平和な世界を創り出すため、毎年国際・地域協力募金を行っています。「富めるものが貧しいものへ」という一方通行ではなく、「共に生きる」仲間として「分かち合う」支援と協力を大切と考えています。

横浜YMCAでは、全国のYMCAと協働し、例年11月1日から3月31日まで様々な苦難にあえぐ地域・人々への支援として「国際・地域協力募金キャンペーン」を行います。2005年度は14,083,389円もの募金が寄せられ、タイの児童保護プロジェクト、ミャンマーの医療・公衆衛生活動、アフガニスタンの難民子どもセンターをはじめ、大きな災害となった米国のハリケーンやフィリピンレイテ島の地すべりの復興などにも支援が届けられました。

私たちYMCA健康福祉専門学校でも、このキャンペーン期間、学生を中心にさまざまな活動を行っています。



Photo by Isao Nagasawa
(本校非常勤講師)

まずは知ること

国際・地域協力募金キャンペーン期間の始まりに合わせて、各クラスでは募金委員を中心に、今年度の活動方法を決定します。その活動の中でほとんどのクラスで最初に行われるのが「学習会」です。昨年は、「世界がもし、100人の村だったら」のワークショップや、「ブンとミーチャのものがたり」のビデオ鑑賞、またエイズ・ボランティア講座参加者のフェアトレードについての報告会などが行われました。

今年は7月に福祉スポーツ科2年の山田智子さんが「国際ボランティアinタイ」の報告会を実施してくれています。

これらの学習会はまず知ること、そして自分が理解することで世界、そして地域の現状を知り、自分たちでできることを考える機会になっています。



世界がもし、100人の村だったらワークショップ

街頭募金

私たちにできることの1つとして街頭募金があります。YMCA健康福祉専門学校では主に本厚木の駅前前で実施しています。通りかかる人たちに大きな声で呼びかけ、募金をお願いすることに、多くの学生は、はじめ戸惑います。しかし立ち止まり募金に協力してくれる人の温かさにふれることで、「自分たちにできること」を感じ、大きな声で呼びかけ、感謝することができるようになっていきます。



パネルを手に呼びかける
介護福祉科の街頭募金(本厚木駅前)

厚木YMCA祭

11月23日にはYMCA健康福祉専門学校のある厚木YMCAでも、「国際・地域協力募金のための厚木YMCA祭」を行います。YMCAの国際・地域協力について地域の方に知ってもらうこと、理解を深めてもらうこと、そして募金に協力してもらうことを目的です。当日は、専門学校の各クラスから模擬店や舞台発表が行われます。また、YMCAあつぎ保育園ホサナの子どもたちや、YMCAの体操や水泳教室に通う子どもたちは、日ごろの練習成果を発表します。この日は専門学校だけでなく、地域の方々や子どもたち、障がいのある方々まで、多くの方に楽しい時間を過ごしていただいています。パザーや模擬店、アトラクションなどの売上はすべて、国際・地域協力募金として使用させていただいています。



模擬店で焼きうどんを販売する福祉スポーツ科
(2005年度)

2007年度生入学試験が始まりました

10月1日よりついに2007年度生の願書受付が始まり、8日今年度最初の入試が行われました。カレッジ・インや学校見学で何度もお会いしている皆さんでしたが、いつもとは違う緊張した面持ちに、私たちもドキドキしてしまいました。YMCA健康福祉専門学校では、何よりも面接試験を重視しています。福祉の仕事は人と人とのつながりなくてはできない仕事だからです。

YMCAに興味を持ってくれた人、入試に不安のある人は是非カレッジ・インにお越しください。

みなさんの将来についてYMCAは一緒に考えます。



在校生アドバイザー。
みんな同じように入試を経験しています。

2006年 11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
	6	7	8	9	10	
12	13	14	15	16	17	18
	20	21	22		24	25
26	27	28	29	30		

2006年 12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	
	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24		26	27	28	29	30
31						



入試 11/5、11/19、12/10



カレッジ・イン 11/11、12/9 9:30~15:30



YMCA健康福祉専門学校

福祉スポーツ科
健康福祉科
介護福祉科

〒243-018

厚木市中町4-16-19

電話 046-223-1441

FAX 046-223-2101

Email: ymkenko@yokohama-ymca.or.jp

HP: <http://www.yokohamaymca.ac.jp/health>



小田急線本厚木駅から徒歩5分
本厚木駅周辺にはミロードをはじめたくさんのお店もあり便利です。有名ラーメン店もありますよ！

YMCA祭に遊びに来てください！
11月23日（祝）10:00~

Realize your dream!

~地域福祉をささえるのはあなたです！~

YMCAではさまざまな活動を通して次のことを学びます。

- 「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」
- 「家族、地域のひとりひとりとして責任があること」
- 「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」
- 「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」
- 「すこやかな心と体を育むこと」

そしてこれらを実現するために、次のことを大切にします。

- 「Caring(思いやり)」「Honesty(誠実さ)」
- 「Responsibility(責任感)」「Respect(尊敬心)」

YMCA健康福祉専門学校では、カリキュラムや学校行事を通じて4つの大切な価値を意識する機会を取り入れています。将来、福祉・保育・スポーツの現場で活躍する学生のみなさんに、他者への思いやりの心を持ち、相手を敬い、自分の行動に責任を持ち、誠実に取り組んでいく専門職になってほしいと願っています。